

令和2年度 管理運営業務点検報告書

対象施設	常盤台コミュニティハウス
対象期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日
指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
実施日	令和2年 10月14日(水)
点検方法	指定管理者からの報告書類の内容審査、ヒアリング、施設への立ち入り調査により実施した。
講評	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度は新型コロナウイルスに対応に追われた1年でした。思うように自主事業や主要イベント等実施できない中、感染対策や施設備品の更新等対応していただきました。・地域コーディネートの一環として新たに「防災学」を企画するなど、施設運営だけでなく地域住民を巻き込みながら地域を良くしていこうという姿勢がみられます。・地域ケアプラザとの合築である特性上、稼働時間が少ないながらも運営に工夫がみられます。
指摘事項	特になし
改善状況	特になし
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

(様式17)

業務点検結果シート(令和2年度総括)

施設名 常盤台コミュニティハウス

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、目標達成状況	—
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区別利用数、その他利用数	利用者数 7,444人(前年度比75.2%増減) ※新型コロナウイルスに伴う休館及び利用制限のため
	会議室等稼働率	部屋別等の稼働率	新型コロナウイルスに伴う開館時間短縮のため全体的に減
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率 ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	収支予算書に基づき、適切に執行されている。 —
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書の自主事業計画との整合性	計322人が参加。防災学、スポーツウォーキング講座などを行っている。
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	業務に支障のない勤務実績である。
	施設の管理状況	点検実施日、点検内容、点検結果、対応状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三者への委託状況等)	適切に管理が行われている。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	適宜実施されている。
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適切に行われている。
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセンターへの意見・要望等)や利用者ニーズ、苦情等の把握状況と対応、掲示の有無等	利用者からの要望・意見に対し適宜対応がとられている。
	サービス向上 経費節減	サービス向上の取組状況、経費節減の取組状況	適切に行われている。
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	適切に行われている。
年1回	運営目標の実績評価 運営に対する自己評価	事業計画作成時に設定した運営目標に対する実績 目標と実績に差異が生じている場合の改善計画	適切な内容である。
	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	利用方法掲示及び窓口での案内等、利用者へ周知されている。
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況、研修の実施、誓約書の提出	スタッフに対し研修を行うとともに、誓約書が提出されている。
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	適切に行われている。
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	作成・提出されている。
		消防計画の作成・提出状況	適切に行われている。
	保険	施設賠償責任保険への加入状況	加入済みである。
	その他研修等の報告	職員等に対する研修の実施状況	施設運営に必要な研修を実施している。
本市重要施策への実現に向けての取組状況	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市内中小企業への優先発注、環境政策、障害者福祉政策、男女共同参画政策等の取組状況	適切に行われている。	
随時	地区センター委員会 利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	10月実施。前年度の事業報告及び今年度の事業計画・予算等の報告を行っている。
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	区役所への報告・対応等適切に処理されている。
	損害賠償	損害賠償の発生状況	特になし。
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	特になし。
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	特になし。
	喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望	すぐに対応が必要な意見、要望	特になし。
	特に重要な施設の維持管理、修繕に関すること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	特になし。
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネートの一環として新たに「防災学」を企画するなど、施設運営だけでなく地域住民を巻き込みながら地域を良くしていこうという姿勢がみられます。 ・ターゲットを絞った事業の展開など柔軟な発想が多いです。 		